

K F Cと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2017年 8月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】
名取市内
【部数】
11,600部
【電話】
022(266)2991

障がいのある方々と地域の懸け橋に

「まるっとますだ」

5月1日、名取市増田に障がいのある方が個性を生かして地域とつながる生活介護事業所「まるっとますだ」がオープンしました。

それぞれのできることをや得意なことを生かし、作業に取り組んでいます。現在、おしゃやれで実用的な皮製品等のクラフトを主に製作しています。今後は地域の特産物や事業に関わる人の趣味を生かした物も取り入れていく予定です。東日本大震災によって地元を離れざるを得なくなった障がい者があります。また名取では支援学校卒業後に利用できる施設やそれぞれの持つ能力

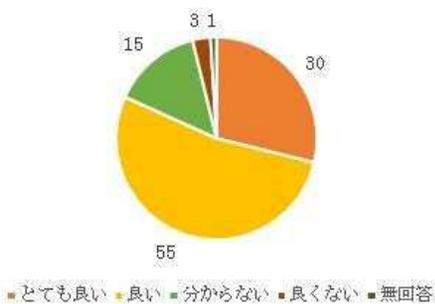
を生かせる場が限られています。社会に関わる場が見つけられないケースも少なくありません。まるっとますだは、それらの課題の解決を担う受け皿として始まりました。また障がいのある方と地域をつなぐ事業所を目指しています。

7月8～9日、名取駅周辺にいた104名に障がい者と地域支援に関するインタビュー調査を実施しました。その結果、多くの人が障がい者の地域支援について良い評価をしていることが分かりました。



制作された商品

地域支援に対する評価



しかし、偏見や差別はあります。まるっとますだのサービス管理責任者の渡邊琢也さん(42)は「障がい者



渡邊琢也さん

これからカフェスペースを作り、地域の人がつるがる場を提供する予定もあり、まるっとますだが障がい者の地域での居場所としての機能を担うことを期待されます。同時に誰もが暮らしやすい社会を実現するために、私たちが自分と異なる特性を持つ人に理解を示し認め合うことが必要なのではないでしょうか。

「まるっとますだ」への相談は、022(393)6412まで。(白鳥颯也)



「白熱の六限」

学科・学年の枠を超え議論

尚絅学院大で、学生と教授がともに現在の社会問題について意見をぶつけ合う「白熱の六限」という講座が行われています。この活動は、合田隆史学長が昨年取り組む授業で、知的な議論をする場を通して、学科、学年の枠を越え個人が思っている問題意識をぶつけ合うことで、大学生としても、一人の人間としてもスキルアップを図ってほしいという思いから行っている対話型課外講座です。

7月26日、合田学長の提案した「What can you do if or」のテーマをもとに、「日本の少子高齢化社会を改善するために、私たちができることは何か」という議題について、一人ひとりが意見を交わしました。「福祉の面からサポートするという意見や、「仕事と家庭を両立させるために社会の制度を変える」など、学生、教授から多くの意見や考えが発表されました。



学生と意見交換する合田学長

この授業に初回から参加している後藤峻さん(21)は、「この授業の良さは、ある問題について自分の考えをしつかり伝える機会がある。そして、教授方も違った視点で伝えてくれるので、気づきが多く貴重な時間を過ごすことができる」と話してくれました。

合田学長は「学科、学年、年代を越え話し合うことにより議論する力を身に付けてほしい」と話されました。

今後は、来学期から新設される「アクティブラーニングセンター」主催で超白熱を期待しています。(青田汐里)

名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く

社会福祉法人みのり会 名取市みのり園

ふえり〜ちえ

笑顔咲く素朴なお菓子



皆さんは、名取市増田1丁目で10年程前から営業している「ふえり〜ちえ」をご存知でしょうか？ふえり〜ちえとは、名取市在住の障がいをお持ちの方に対して、就労支援及び就労場所を提供しているみのり園が、敷地内で営業しているショップのことで、クッキーやミルクキャラメルなどのお菓子を製造・販売しています。

店内には、いろいろなクッキーが並んでおり、選ぶのに迷ってしまいます。その中で私のオススメは紅茶味。一口頬張ると口の中にアールグレイの香りが広がる上品な味のクッキーでした。また、チーズ味もオススメで、甘さひかえめな仕上がりで、おやつとして食べるだけでなく、お酒にも合う大人な味となっています。

クッキーは1袋（6〜8枚入り）で120円とリーズナブル。また、人気の高いロングセラー商品であるミルクキャラメルは7個入りで120円とこちらも手頃なお値段での提供となっています。さらに、毎週水曜日は「ふえり〜ちえの日」として生ケーキ（220円〜）も販売しているとのこと。ケーキの人気も根強く水曜日は普段よりお客さんも多いとのことでした。

お菓子の製造は、利用者さんが材料の計量からオープンでの焼き作業、ラッピング作業まで全ての作業に関わっています。

お菓子製造について、みのり園主任の長谷部さんに伺ったところ「利用者さんが、自分のやるべき仕事に責任を感じ、作業に打ち込んでいる姿を見ることが、職員として嬉しく思い、そしてやりがいを感じています」と語っていました。

園内の雰囲気は、ふえり〜ちえ（イタリア語で「幸せ」という意味）と店の名前のごとく、和気藹々と笑顔が溢れています。ぜひ、1度立ち寄って、美味しいお菓子をご賞味下さい。

社会福祉法人みのり会 名取市みのり園 **ふえり〜ちえ**

名取市増田1丁目8-34 022-384-1594 営業：平日午前10時〜午後5時まで（土日祝は定休日） その他不定休有り

なるほど名取

花桃（ハナモモ）

今回はハナモモ通信の名前の由来となる名取市の花、「ハナモモ」について調べてみました。

域を彩り、桃源郷を思わせると言われ続けてきました。昭和53年10月に、花もを市の花として制定。市が求める、やすらぎある豊かたで住みよい理想郷づくりのシンボルとなっています。」と説明されています。



い裁定をめぐり、涌谷当主伊達安芸宗重はかねてからの兵部一派の政治に対する反発もあり幕府に直接訴え出た。寛文11年、幕府大老酒井雅楽頭忠清邸での評定の席で、状況が不利となつた兵部一派の宗輔は宗重に切りかかり絶命させ、その場で宗輔も切られ死亡した。兵部は、土佐へ流され一閑藩は改易。岩沼藩田村家は閉門（後に許され一閑藩を再興）。原田家は断絶となった。

プレゼント企画!

「ハナモモ記者が行く名取産食べ隊」にご協力頂いた、「ふえり〜ちえ」さんの商品を抽選で5名へプレゼント！住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかファクス、または郵送で左記まで。9月3日締切。

住所

〒980-0022
仙台市青葉区五橋1の10
FAX (227) 8333
「KFCハナモモ通信プレゼント」係。

メール：hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp

● なとり一〇〇選
名取市のなとり100選「51・奥州路の花もも」によると「伊達騒動で知られる原田甲斐の家臣が飯野坂・植松地区に帰農し、主君を慕って植栽したものと言われています。愛らしく、華やかに咲き誇る風情が地

？伊達騒動・原田甲斐？
原田甲斐宗輔は仙台藩奉行（家老職）船岡要害（柴田町）に生まれる。1660年3代藩主伊達綱宗が幕府から隠居を命ぜられ幼君亀千代が2才で藩主となり後見として、伊達兵部宗勝（伊達政宗十男、一閑藩主）、田村右京宗良（伊達忠宗三男、岩沼藩主）が後見政治を行い、しだいに兵部が藩政の実権を握る。寛文10年、一門の涌谷伊達氏と同じく一門の登米伊達氏の知行地争